

ANA/JAL 2019 年度 Q1-3 の決算について

両社の発表資料をもとに、2019 年度 Q1-3 連結決算を簡単に比較・概観しました。

(末尾処理の関係で両社の発表値とずれているところもあります。)

1. 売上高と利益: ANA 増収、JAL 横ばい収入

⇒営業利益は両社とも減益で 1200 億円規模で並ぶ

- ① **売上高:** 国内旅客は両社ともに増収(特に ANA)。
国際旅客は ANA 増収に対し、JAL は減収。
ANA の LCC(10 月末に Peach が Vanilla を統合)は移行に伴う Vanilla の規模減があり減収。
貨物郵便は両社減収、特に ANA は大型貨物機を導入(B777x2 機)したが大幅減収。
- ② **営業費用:** 供給規模(ASK)は ANA が国内線+2%、国際線+6%、
JAL は国内+2%、国際は+1%。
両社ともに燃油費が減少(単価減等)の一方で、機材費(新機材増)と整備費が増加、特に ANA の整備費は大幅増。
労務関係費用(人件費、増便に伴う委託費増)も増加。
- ③ **営業利益:** ANA は減益(▲370 億円)の 1,197 億円(利益率 7.6%)、
JAL も減益(▲253 億円)の 1,202 億円(利益率 10.6%)。
- ④ **当期利益**(親会社株主帰属分): ANA は▲204 億円減益の 864 億円、
JAL は▲303 億円の 763 億円。
ANA の当期利益が上回っているのは、ANA に特別利益(補償金等)があり、JAL に特別損益(減損処理等)があったことによる。

2. 2019 年度年間見通し； JAL は下方修正、利益レベルは同規模

ANA； 売上高は前年比+317 億円の 2.09 兆円で、営業利益 1400 億円を見込む。

JAL； 国際線の下降を反映して売上高と利益レベルを下方修正した。

1.49 兆円の売上高で、営業利益は ANA と同じの 1400 億円を見込む。

なお ANA は前回(上期発表時)に下方修正し、今回はそれで据え置き。

《図表1》 連結損益計算書の概要比較

	ANA				JAL				年間予想	
	前Q1-3	当Q1-3	差	率	前Q1-3	当Q1-3	差	率	ANA	JAL
国内旅客	5,349	5,535	186	103	4,047	4,154	107	103		
国際旅客	4,966	5,080	114	102	4,034	3,921	-113	97		
LCC	692	643	-49	93	-	-	-	-		
貨物郵便	1,265	1,036	-229	82	772	691	-81	90		
その他	3,412	3,528	115	103	2,458	2,543	85	103		()前回見通しとの差
営業収益	15,684	15,822	137	101	11,311	11,309	-2	100	20,900	14,860
営業費用	14,118	14,625	507	104	9,856	10,107	252	103		(-300)
営業利益	1,566	1,197	-370		1,455	1,202	-253		1,400	1,400
(率)	10.0	7.6			12.9	10.6				(-300)
営業外収支	-24	29	53		-69	17	86			
経常利益	1,542	1,225	-316		1,386	1,218	-168		1,370	1,450
										(-260)
当期利益	1,068	864	-204		1,066	763	-303		940	930
(親会社帰属)										(-210)

3. 国内旅客、国際旅客にかかわる指標の比較；

国内、国際ともにANAが規模で圧倒し、今期の増収幅も大きい

LCC 収入も加味した旅客収入規模は ANA は JAL の約 1.4 倍

① 国内旅客

- ・ 両社ともに旅客数と収入が+3%、但し規模の関係で ANA の増収幅が大。
- ・ 搭乗率は JAL がかなり高く 74%、但し機材の大きさ(平均的に ANA が大きい)や機内仕様の差(中間クラスの多い JAL は席数が少ない)といった事情の影響もあると考えられる。

② 国際旅客

- ・ ANA 増収に対して JAL は減収。
- ・ ANA は長距離の欧米路線やハワイ線が増、短距離の中国線が減少。
- ・ JAL は北米路線で増、ハワイ線で大幅減。
- ・ 搭乗率は両社とも低下、特に JAL の低下幅が大きかったものの、絶対値ではなお ANA を大きく上回り、81%となっている。

《図表 2》 旅客にかかわる指標の比較

	ANA				JAL				
	前Q1-3	当Q1-3	差	率	前Q1-3	当Q1-3	差	率	
【国内旅客】									
旅客収入	億円	5,349	5,535	186	103	4,047	4,154	107	103
旅客数	千人	33,757	34,725	968	103	26,438	27,124	686	103
旅客 ^キ *	百万 ^キ *	30,971	31,946	975	103	19,817	20,444	627	103
座席 ^キ *	百万 ^キ *	44,083	44,942	859	102	27,184	27,607	422	102
搭乗率	%	70.3	71.1	0.8		72.9	74.1	1.2	
旅客単価	円/人	15,846	15,940	94	101	15,308	15,315	7	100
【国際旅客】									
旅客収入	億円	4,966	5,080	114	102	4,034	3,921	-113	97
旅客数	千人	7,642	7,734	91	101	6,873	6,770	-103	98
旅客 ^キ *	百万 ^キ *	38,299	40,503	2,204	106	33,699	33,831	131	100
座席 ^キ *	百万 ^キ *	49,634	52,729	3,095	106	41,212	41,782	570	101
搭乗率	%	77.2	76.8	-0.3	100	81.8	81.0	-0.8	99
(平均距離)	KM	5,011	5,237	226	105	4,903	4,997	94	102
旅客 ^キ 単価	円/ ^キ *	12.97	12.54	-0.42	97	11.97	11.59	-0.38	97

4. 国際線の路線別収入(推定)の比較: ANA はハワイ路線で躍進

(概算推定値であり、厳密な実態とは差がある可能性もあります)

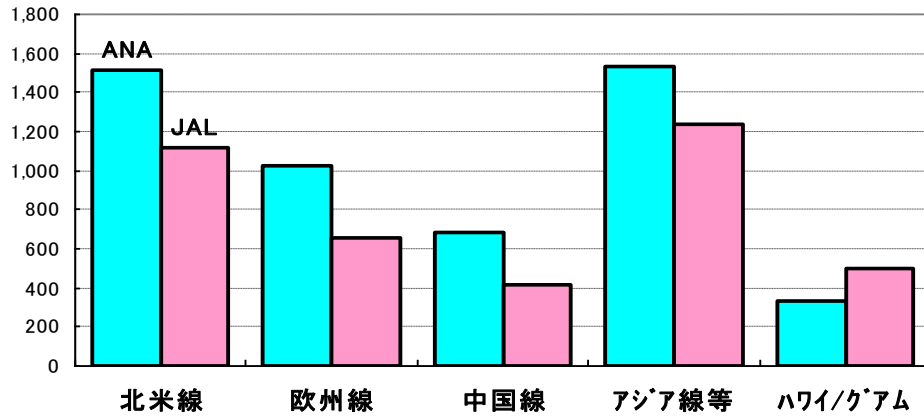
① 路線別の収入と対前年増減幅(推定値)

- ・ハワイ/グアム路線では JAL が上回っているが、その他は全て ANA が上回っている。
- ・ANA は中国線では減収ながら、他の路線では増収で、特にハワイ絡みの路線は超大型機(A380)就航の効果で大幅増収となっている。
- ・JAL は北米線は大幅増収ながら、他の路線では減収となっており、特にハワイ絡みの路線での減収は大きい。

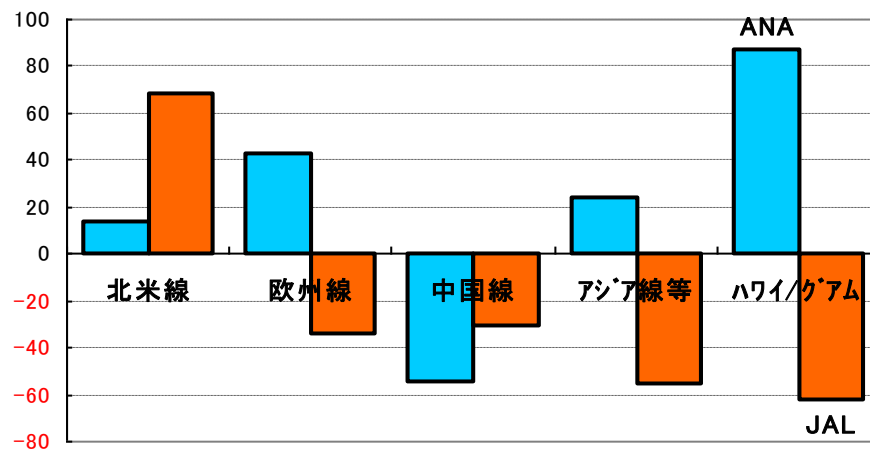
② 路線別搭乗率(推定値)

- ・JAL の搭乗率は総じて ANA を上回っているが、ハワイ絡みの路線では ANA が JAL を大きく上回っている。大幅な供給席数増に旅客数が伴っているようである。

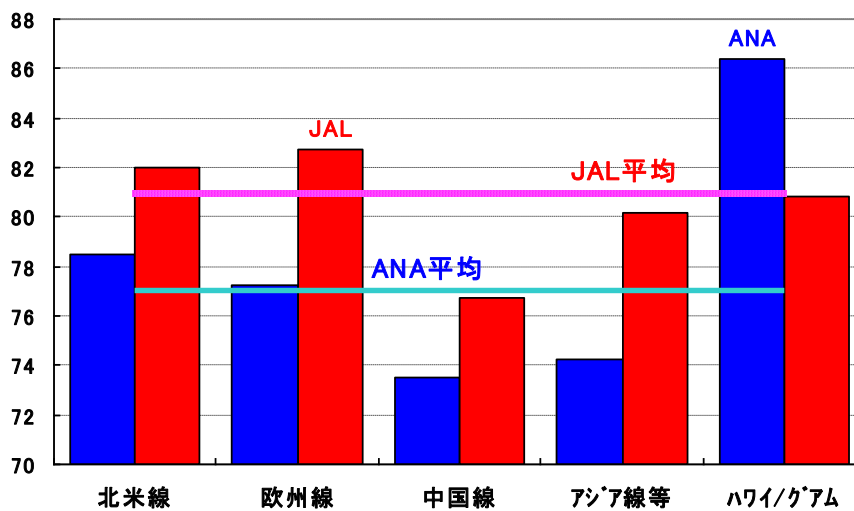
《図表 3》 国際線の路線別収入(推定額;億円)の比較



《図表 4》 国際線の路線別収入;前年との増減差額(推定額)の比較



《図表 5》 国際線の路線別搭乗率(推定値;%)の比較



5. 機材数の比較:

当期に入って両社ともに大型化が進行

- ・両社ともに中大型機(B787/B777/A350)が増加、小型機(B737/A320)が減少。
中大型機の割合は、ANA が 58%、JAL も 5 割を超えた(52)。
- ・ANA の貨物専用機は当期に新たに導入された 2 機の大型機(B777F、1 機は中型機との入替)を含めて 12 機となった。
- ・ANA はこのほかに傘下 LCC が約 40 機の小型機を有している。

《図表 6》 機材数の比較

	ANA			JAL		
	2019.3末	2019.12末	差	2019.3末	2019.12末	差
	機	機	機	機	機	機
大型機	50	57	7	40	45	5
中型機	96	96	0	77	81	4
貨物機	12	13	1			
小型機	83	77	▲ 6	65	62	▲ 3
リージョナル機				32	32	0
プロペラ機	24	24	0	21	21	0
合計	265	267	2	235	241	6
(中大型機割合)		(58%)		(52%)		

6. 財務状況尾の比較:

両社、社債発行で新たな資金を調達

JAL は現預金抛出で退職給付債務を 900 億円圧縮

ANA の利益剰余金規模は JAL に近づきつつある

純資産は同規模、株価時価総額(1/31 時点)は ANA が大きい

→ANA は純資産の 1.1 倍、JAL は 0.87 倍

《図表 7》 貸借対照表の比較

	ANA			JAL		
	2019.3末	2019.12末	差	2019.3末	2019.12末	差
	億円	億円	億円	億円	億円	億円
現預金、有証券	2,937	3,901	964	5,221	3,264	-1,956
営業未収入金	1,807	1,614	-193	1,531	1,552	21
航空機	10,626	11,302	676	7,340	8,215	875
他の有形固定資産	4,844	4,184	-660	1,953	1,833	-120
無形固定資産	1,552	1,486	-66	923	941	18
繰延税金資産	853	810	-43			
投資等	1,988	2,080	91	2,473	2,337	-136
その他資産	2,264	2,165	-99	864	1,276	412
資産合計	26,871	27,543	671	20,303	19,417	-886
営業未払金	2,237	2,229	-7	1,857	1,754	-103
有利子負債	7,700	8,307	607	1,369	1,527	159
リース債務	186	174	-12	50	31	-18
退職給付債務	1,582	1,598	16	2,127	1,225	-902
前受運賃等	2,190	1,894	-295	2,900	2,685	-215
その他負債	1,883	1,579	-304			
負債合計	15,778	15,783	5	8,302	7,222	-1,080
資本金・資剰金	5,772	5,773	0	3,644	3,644	0
利益剰余金	5,484	6,096	612	8,226	8,408	183
自己株式	-590	-594	-4	-5	-105	
その他	427	485	58	137	248	111
純資産合計	11,093	11,759	666	12,001	12,195	194
(時価総額 1/31)		11,933			10,622	

以上 (Y.A)